

## NPO活動支援 (寄付額：445万6,920円)



◀▼平成 26 年度NPO 法人エデュケーション エーキューブ

小中学生向けに九大生が教える体験型科学教室「わくわく放課後サイエンス教室」を開催しました。学習アプリなどITを活用した学習、実験、クイズ大会等で大学生と一緒に楽しみながら科学について学習することができました。



◀▲平成 26 年度NPO法人 福岡建築ファウンデーション

福岡のまちにはたくさんの素敵な建築物があります。建築を通して、福岡の魅力を伝えるため、近現代建築を50作品選び、それぞれアイコンをデザインしてウェブサイト (<http://fafnpo.jp/map/>) で紹介しています。ウェブサイトでは、地図とともに、日本語、英語、中国語、韓国語でご覧いただけるように作成しました。

## こども (寄付額：848万4,090円)

次世代を担う子どもたちが健やかに生まれ、育つことのできるまちづくりを進めるため、「子どもプラザ」「子どもの夢応援事業」「障がい児地域交流支援事業」に活用いたしました。



## 音楽産業振興

(寄付額：12万5,000円)

福岡の代表的な音楽イベントが連携した福岡ミュージックマンス等への支援を通じ、音楽によるさらなる集客と「音楽都市・福岡」としてのブランディングを図るとともに、音楽関連ビジネスの活性化を目指します。

皆様からの寄付金は、音楽産業振興基金を通じて、今後の音楽産業振興に活用させていただきます。

## 美術館 (寄付額：446万5,000円)

皆様からの寄付金は、展覧会の情報などを掲載している美術館ニュース「エスプラナード」の製作費として活用しました。また、今後、新たに美術品を購入するための資金として活用します。



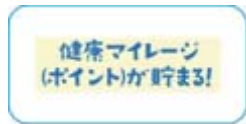
## スポーツ振興 (寄付額：22万9,000円)

皆様からの寄付金は、大規模大会の招致など、こどもをはじめとする市民が一流のスポーツの魅力に触れ、交流できる機会を作るための財源として活用させていただきます。

## 健康づくり (寄付額：10万0,000円)



▲ふくおか健康マイレージ手帳



毎日の健康づくりやイベント参加、健(検)診等をポイント化し、貯まったポイントに応じて賞品をプレゼントする「ふくおか健康マイレージ事業」を平成26年度にスタートし、市民の皆様の自主的な健康づくりの支援に役立てました。

平成26年度参加者：1,054人

## 地域保健福祉振興 (寄付額：22万5,000円)



地域で高齢者などが安心して生活できるように、以下の活動に助成を行いました。

- ・ふれあいネットワーク：134校区
- ・ふれあいサロン：141校区
- ・ふれあいランチ：4校区
- ・校区広報紙発行事業：133校区

◀ふれあいサロン

# ふくおか! 応援寄付金

## の活用状況を お知らせします。

平成26年度中に、全国の皆様からたくさんの寄付金をいただきました。

皆様からいただいた貴重な寄付金は、皆様が指定された使い道に従って大切に使用させていただいております。

皆様の温かい心遣いに改めて感謝を申し上げます。

## 平成26年度寄付総額

### 8,003万885円 (1,190件)

皆様からの寄付金を使って平成26年度に実施した事業や活動の取組状況などをお知らせします。

## 新病院の施設整備

(寄付額：11万0,000円)



◀平成26年11月完成!▶

新しい福岡市立こども病院

皆様からいただきました寄付金により、平成26年11月に新しいこども病院が開院いたしました。

## 患児家族滞在施設 (ふくおかハウス) の建設

(寄付額：4,575万8,431円)



◀平成27年3月完成!▶

ふくおかハウス外観

皆様からいただきました寄付金により、平成27年3月に患児家族滞在施設 (ふくおかハウス) が完成いたしました。



▲ベッドルーム



▲キッズコーナー

患児家族滞在施設 (ふくおかハウス) は、病気とたたかう子どもたちやそのご家族を身体的・精神的また経済的にも支える施設として、平成27年5月から利用いただいております。

## こども病院における医療研究

(寄付額：46万7,000円)

皆様からいただきました寄付金は、こども病院の医療技術向上のための研究や各種講演会などに活用させていただきます。

## 市民病院における医療研究

(寄付額：28万5,000円)

皆様からいただきました寄付金は、福岡市民病院の学会発表や臨床研修実習などに活用させていただきます。

…その他、福岡市の施策全般、都市景観にも多くのご寄付をいただいております。



## 福岡城の復元整備（福岡みんなの城基金）

（寄付額：822万5,019円）



▲福岡城整備イメージ（将来像）

福岡城の復元整備の一環として、旧母里太兵衛邸長屋門の保存修理工事を行い、平成27年4月に完成しました。この長屋門は、黒田24騎の一人で、福島正則から名槍日本号を飲み取ったという「酒は飲め飲め…」の筑前今様で知られる豪傑母里太兵衛の邸宅に構えられたもので、武家屋敷長屋門として代表的な江戸時代の優れた建造物です。

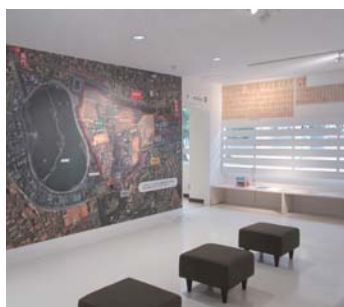
また、平成26年11月には、国指定史跡福岡城跡・鴻臚館跡エリアに、案内・休憩施設として福岡城・鴻臚館案内処「三の丸スクエア」がオープンしました。

この施設では、福岡城・鴻臚館にまつわる史跡案内や企画展示などをはじめ、休憩処として、軽飲食の提供及びお土産等の販売も行っております。また、福岡みんなの城基金にご寄付いただいた方の芳名板も掲示しております。是非一度お立ち寄りください。

- ・所在地：福岡市中央区城内（旧舞鶴中学校跡地）
- ・電話：092-720-7510
- ・交通：地下鉄「大濠公園」駅から徒歩約10分、西鉄バス「福岡市美術館東口」から徒歩約5分
- ・開館時間：午前9時～午後5時（7～8月午後7時まで）
- ・休所日：年末年始（12月29日～1月3日）



▲旧母里太兵衛邸長屋門



▲三の丸スクエア

## 動物園（寄付額：58万709円）



皆様からの寄付金は、園内約120種、580点の飼育動物のエサ代として活用いたしました。皆様のおかげで、動物たちは元気に暮らしています。

※個人で1,000円以上ご寄付いただいた方には、1年間無料入園やバックヤードツアー参加などの特典がある「サポーター登録証」と動植物園だよりを送付いたしました。

## 植物園（寄付額：13万2,000円）

皆様からの寄付金は、園内花壇の花苗購入費等に使用させていただき、来園者の方に楽しんでいただきました。



※個人で2,000円以上ご寄付いただいた方には、1年間無料入園可能な会員証と動植物園だよりを送付いたしました。

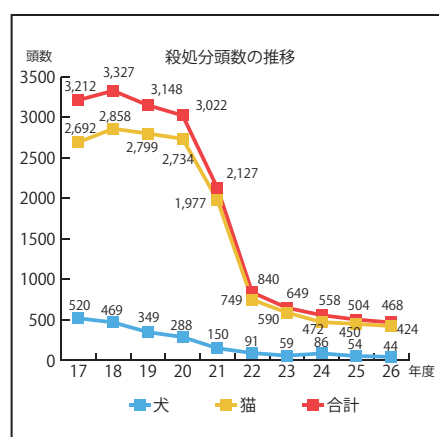
## 動物愛護（寄付額：139万3,716円）



譲渡された犬猫

平成26年度は、動物愛護管理センターに829頭の犬猫を収容し、そのうち119頭の犬と102頭の猫に、最後まで責任を持って飼ってもらえる譲渡先がみつき、新たな飼い主のもとでのくらしがはじまりました。また、殺処分頭数は平成20年度の3,022頭だったものが、平成26年度には468頭まで減少しています。

皆様からいただいた寄付金は、譲渡される犬猫のエサ代、治療や不妊去勢手術に必要な薬品代などに活用しました。



## 環境市民ファンド（寄付額：38万5,000円）

「市民の環境保全に関する実践活動を支援するとともに地域に根ざした環境保全活動を展開することにより、本市における環境の保全を図る。」ことを目的に、平成26年度は次のような事業を実施しました。



- ◀3R（リデュース・リユース・リサイクル）
- ・拠点での資源物回収事業（公共施設・民間協力店・校区紙リサイクルステーション等）
- ・使用済小型電子機器回収事業 など

温室効果ガスの排出削減▶

- ・ECOチャレンジ応援事業
- ・地球温暖化市民協議会事業
- ・事業所省エネ技術導入サポート事業 など



- ◀自然環境の保護
- ・生きものにぎわい創造事業
- ・ラブアースクリーンアップ（海岸清掃）
- ・不法投棄防止対策 など

複合的な活動▶

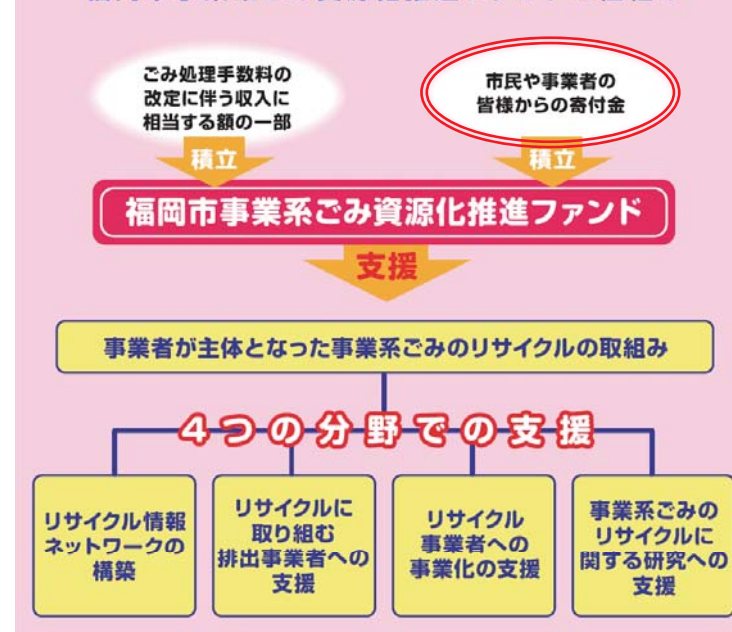
- ・エコ発する事業（市民・NPO等が自主的に行う環境活動の支援）
- ・環境フェスティバル（市民向け環境イベント） など



ご協力ありがとうございました！

## 福岡市事業系ごみ資源化推進ファンド（寄付額：10万0,000円）

### 福岡市事業系ごみ資源化推進ファンドの仕組み



## 福岡の森づくり（寄付額：17万0,000円）

平成26年度に、早良区や西区の森林を中心に約200ha（ヘクタール）の森林の整備を行いました。これは、ヤブオク！ドームおよそ30個分の面積に相当します。

整備内容は、幼木が下草や蔓に負けて枯れてしまわないように下草を刈る「下刈り」や、木の密度を調整する「間伐」、いらぬ枝を切り落とす「枝打」等です。



▲間伐を行っていない森林 ▲間伐を行っている森林

この整備で、暗くなってしまっていた森林にも、地面まで光が届くようになりました。

地面まで光が届くことで、下草が生え、表土の流出が抑制され、また、保水力が向上するなど、公益的機能がより発揮されることに繋がります。



皆様からの寄付金は、森林保育事業に活用させていただきました。

皆様からいただいた寄付金は、福岡市事業系ごみ資源化推進ファンドを通じて、事業者を主体としたリサイクルの取組みへの支援に活用され、循環型社会の構築の一助となっています。

◀平成26年度の活用事例▶

- ・事業系ごみのリサイクルに関する専用ホームページを活用し、事業者へリサイクルに関する情報発信を行いました。
- ・リサイクルに関する研究を行う事業者や機関に対して、研究費の一部を補助し、支援を行いました。
- ・市内に食品廃棄物の資源化施設の増設を行った事業者に対して、施設の整備に要する費用の一部を補助し、支援を行いました。

※実施事業の詳細は、福岡市環境局HPをご覧ください。

<http://www.city.fukuoka.lg.jp/kankyo/sanhai/hp/01-03.html>